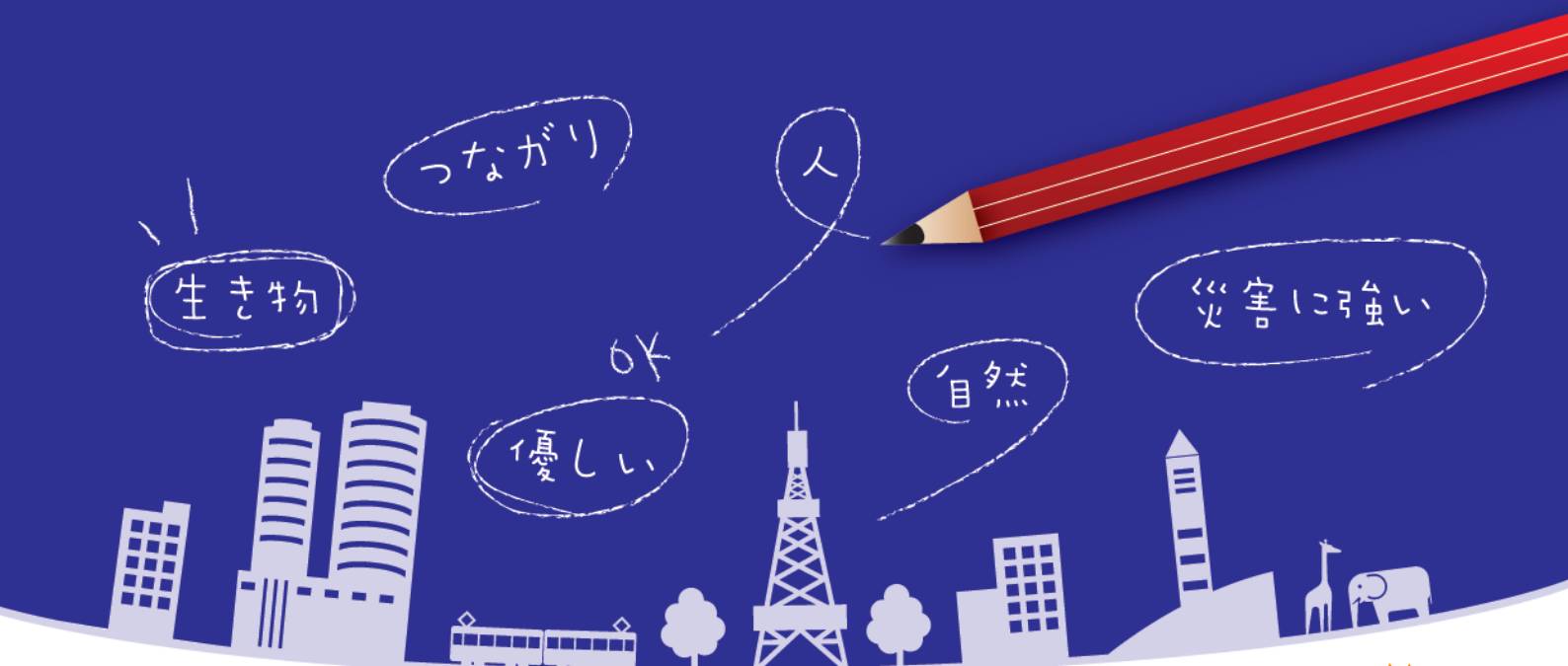


いのちを守る まちを築こう



入場
無料

ポスト COP10、私たちはなにを描くか？



日時 平成 23年 11月 13日 (日) 13時30分から16時30分まで

場所 中区役所ホール (名古屋市中区) 定員 350名 (事前申込み制)

※申込方法は裏面を参照

参加者には、
東北由来の
素敵なグッズを
もれなく
プレゼント

昨年秋の「生物多様性条約第10回締約国会議」(COP10)から一年。

愛知・名古屋はなにを学び、どう変わりつつあるでしょうか。

あの会議で多様な命を守ることに合意したとすれば、私たちは今春の東日本大震災からの東北の復興にも当然、無関心ではられません。

誰かに用意されたまちから、自分たちで一つ一つ築き上げていくまちへ。

多くの人たちが今、なにかをきっかけに

明日の自分たちのまちを自分たちの手で描き出す旅を

はじめたのではないのでしょうか。

本年のこの催しではそんな旅のいくつかを集めて、会場の皆さんとともに

明日の愛知・名古屋のまちを描く出発点にしたいと思います。

- 共催● なごや環境大学 名古屋市 名古屋商工会議所
社団法人名古屋建設業協会 社団法人愛知県建設業協会
- 後援● 国土交通省中部地方整備局 環境省中部地方環境事務所
愛知県 中日新聞社 環境パートナーシップ・CLUB
- 企画責任団体● 社団法人愛知県建設業協会

中区役所ホール 会場位置図



● プログラム 総合司会 深谷里奈さん(東海ラジオ)

登壇者、関係団体・企業の

パネル展示も
行っています

13時30分～14時30分

① 主催者あいさつ

② 話題提供1 「ポストCOP10、愛知・名古屋の果たす役割」

名古屋市立大学 香坂玲さん

③ 話題提供2 「東北の底力、歌と報告」

山形県南陽市から 百姓シンガー 須貝智郎さん

14時30分～14時40分 休憩

14時40分～16時30分

コーディネーター：中日新聞社論説委員 飯尾歩さん、ゲスト：須貝智郎さん

④ 未来を描く1 「秋刀魚が創った絆・16年」

～3.11から8カ月、復興の一步が向かう明日を語る～
「目黒のさんま祭」気仙沼実行委員会会長(気仙沼在住) 松井敏郎さん

⑤ 未来を描く2 「朝霧を引き継ぎ、受け渡す、飛騨古川のひとびと」

～風雅な里をつつむ朝の霧は、持続可能なまちの指標～
ランドスケイプデザイナー 東北芸術工科大学 廣瀬俊介さん

⑥ 未来を描く3 「2050年なごやの姿」

DVD上映(一部)と制作者の願い…名古屋市環境局・森本さん、小木原さん
未来の大人たちが描く明日のなごや…名古屋市港区 富士文化幼稚園の子どもたち

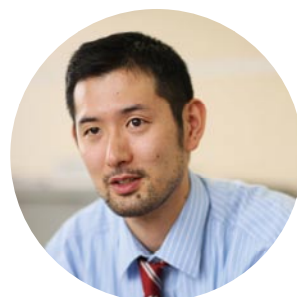
⑦ エンディング 子どもたちと飯尾さんと司会の深谷里奈さんで



総合司会
深谷里奈さん(東海ラジオ)



中日新聞社論説委員
飯尾歩さん



名古屋市立大学 准教授
香坂玲さん



百姓シンガー
須貝智郎さん

● 参加申込み先・お問い合わせ先

以下の3ヶ所で受け付けます。参加申込みの際は参加者名、代表者氏名及び連絡先をお知らせ下さい。

- 社団法人 愛知県建設業協会 (お問い合わせ担当: 梶田) 【TEL】052-243-0885 【FAX】052-242-4194
- 社団法人 名古屋建設業協会 【TEL】052-971-1901 【FAX】052-971-1903
- なごや環境大学事務局 【TEL/FAX】: 052-223-1223